

2025・7・19 中国新聞掲載

狩留家町の小山に 自然の森公園構想 地元NPO 5年がかり

山道の階段を整備するもりメイト
俱楽部のメンバーたち

もりメイト俱楽部が協力

広島市安佐北区狩留家町の住民グループ「NPO狩留家」が、町内の小山を「自然の森公園」にする構想を描いている。県内の森を手入れしている「もりメイト俱楽部 Hiroshima」(中区)の協力を得て、5年ほどかけて完成を目指す。

JR芸備線狩留家駅に近い琴平山(約100㍍)で5月、(84)が昨夏、同俱楽部のメンバー36人が集まつた。約6時間にわたって山道を登りやすいように階段を造ったり、荒れた竹林を伐採したりする作業に汗を流した。

(金刺大五)

構想は、特産野菜「狩留家なす」の栽培を手がけるNPO狩留家の黒川章男理事長(84)が昨夏、同俱楽部の山本恵由美理事長に協力を持ちかけて動き出した。山の周辺約1㌶のエリアで今後、メンバーが年1回集い、景観整備や自然を生かした遊具作りに取り組む。



黒川理事長は「少子高齢化が進む地域に都市部から多くの人たちが訪れ、交流人口が増えれば」と願う。山本理事長は「森は命の源となつていいことを知つてもらう公園にしたい。町おこしのためにも人手とノウハウを提供する」と意気込む。